

社 報



驕り(おごり)

チャレンジ!

国土交通省は、フロンティア事業と言う、モデル事業を募集しています。このモデル事業に選定されると、助成金もいただけます。

当社は過去に、新分野進出経営革新事業に応募し選定をいただいた実績があります。今回は、同業社5社がタッグを組んで、応募することになりました。

テーマ

汎用システム型枠
「(仮称)Pブロック」の開発
応募事業者名
コンクリート寸法の規格化を
目指す大工の会



先日、あるお客様からお電話をいただきました。

新しく工事が始まるので、現場へ顔を出すようにとのことでした。

現場所長に電話を入れて、時間の約束を取り付けて、現場を訪問したところ、お叱りを受けました。

当社は古くから営業させていただいています関係で、協力会の役員もさせていただいています。

また、お客様先の関係各所とも懇意をいただいております。

親しき仲にも礼儀ありと言いますし、大きな態度をとったりしないように気を使っていたつもりではあります。

礼儀が大事であることは承知していても、人間関係を作るということは礼儀を尊重しているから作れるかという、そうではありません。

親しくなると、普段通りの言葉使いで会話をしますし、また、そうすることで親しみも湧き、相手を知ることができ、理解が深まれば仕事もうまくいくと思うのです。

そうした人間関係は良いことではあります、周囲の方々からどう見

えているかと言えば、必ずしも好意的ではないかもしれません。

冒頭の現場を訪問させていただいた時、現場所長からは、業者としての態度が大きいとご批判をいただきました。

そんなはずはない、と思っていたのですが、深く反省をすれば、そういう風潮があり、周囲の方々にご迷惑をお掛けしたのかもしれない。

人はいろんな場面で、得意になったり、自慢気になったり、大きな態度をとることがあります。

自分を大きく見せて得られるのは人への優越感なのでしょうが、そういう態度は、必ず自分にマイナスとなって返ってくるものです。

普段から意識して注意していないと、ふとしたはずみに表に出てしまいます。

奢る(おごる)気持ちはないにしても、周囲からどう見られるかで、評価が左右されるとすれば、自分自身の態度はよほど気をつけなければなりません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

はやくも休業災害が発生

2月12日(土) 16:00頃 曇り
MIHO学院の現場にて、スラブベニア貼り(塗装合板)作業に区切りをつけて、ポンチを釘袋にいれて移動しようとしたところ、ベニア上の雪で足を滑らせ腰を強打した時に、腰袋のポンチが体に突き刺さり、休業災害。
被災者:田代 敦俊
経験:13年

所属:浦谷部-白石工務店
職種:型枠大工
傷病:右腎刺創
休業見込:全治2週間
滋賀県の現場で、天候・足元の悪い中での仕事でした。
環境の悪い状態でしたが、そこは危険を予知して安全に仕事をこなさねばなりません。
雪に慣れていなくてもです。

2011年 安全成績

■現場災害 H23.1.1-H23.2.18	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
■交通災害 H23.1.1-H23.2.18	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0